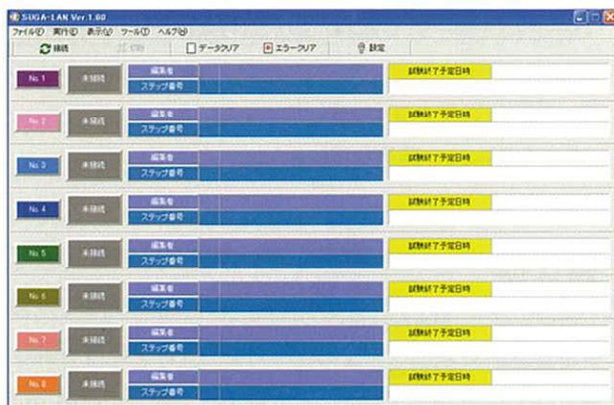
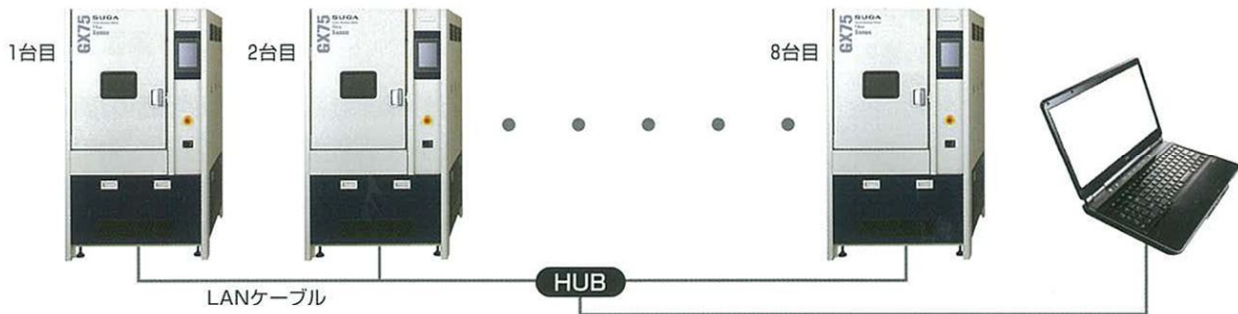


LANによる集中管理システム (促進耐候性試験機は標準搭載、腐食促進試験機は、後日搭載予定。)

今回採用したタッチパネルは、パソコンとLAN接続し、付属の専用ソフトを用いて、最大8台まで運転データのモニタ管理が可能です。複数の試験機の運転状況が1台のパソコンモニタ上で確認できます。



装置一覧画面



運転画面

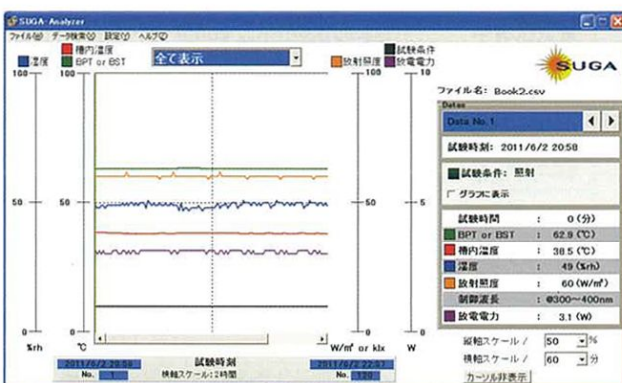
■特長

タッチパネルの運転画面に表示される全ての項目（試験条件、放射照度、BPT温度、槽内温度、湿度、積算放射照度、試験時間、サイクル、放電電力、放電電圧、放電電流、電源電圧、総運転時間、運転時間、ランプ使用時間、編集者

名等）をパソコン上でモニタ可能。運転記録はパソコン起動時からのデータがグラフ化され表示、安全装置作動時には異常項目を表示し、装置が停止した事を知らせます。

データ解析ソフト

タッチパネル内に1分毎に記録された運転データのグラフ化や最大値・最小値の検索が行えます。



■特長

タッチパネル内で記録された運転データをUSBメモリで取出し、データ解析ソフトでパソコン上で開く事により、データをグラフ表示します。グラフは時間軸・数値軸のスケールや、項目毎の色、試験項目名の表示・非表示などを自由に変更でき、グラフの印刷も可能です。

また、各項目毎に、運転データ内の最大値、最小値の検索が可能です。